

日頃気になっている「資産・負債の継承」「パソコンデータの継承」について、問題提起します。皆様から関連する知識、技術、経験をご教示いただければ幸いです。

1. 資産・負債の継承

本人が所有する資産・負債の詳細を適宜 正確に管理し、継承者に円滑に継承する事は、終活における重要項目の一つ。事の性格上、承継者への伝達レベル、TPOなど難しい側面があるが、データ整理と管理はトラブル回避上必要と思う。

小生は資産などろくにないが、退職時に 以下のデータをエクセルで整理した(専用のUSBで管理)。退職後の生活設計と定期的チェックの上で有意義。相続データの整備にもなる。

1~2年に1回メンテする。(大きな変更は都度 赤字で紙のリストに記入)

(1) 資産・負債の一覧表

①不動産(項目、番号、面積・構造、価値?、備考)

②金融資産(名義、金融機関名、住所、電話番号、種類、番号、金額、印鑑、備考)

③負債

☆資産・負債の総括的管理が可能となる。1、2年に1回更新の都度 詳細を再認識できる。

☆結果的に継承データになる。「資産に見えて実態は負債!？」もある。

(2) 家計収支(年間ベースの概略収支) ※年額ベース。毎月発生は月額を入力、12倍して集計。

①収入(年金、他)

②支出(電気・ガス・水道料金、情報通信費、諸費用、税金、社会保険料、他)

☆①-②で、突然の出費、大旅行等 特別の場合を除き、日常の消費可能額概略の把握が可能。

☆相続者が個別契約内容を理解し、解約手続きが円滑にできる。

インターネットバンキング。ホームページなど解約手続きが分かりにくい項目に注意。

本人没後 即解約か そうでないか等、判断に迷いそうな項目についてコメントしておく。

(3) カード

☆引き落とし専用の口座を作り、残高管理すると、万一の際 被害がその範囲に抑えられる。

☆カード内容、紛失時連絡先の一覧表を作成しておく。

☆裏表をコピーし、ファイルとして保管する簡便な方法もある。(都度メンテ)

2. パソコンなど内容の継承

上記1と異なり、パソコンの中身は見えにくく、家族がノータッチだと問題発生リスク大。

過日テレビで「ビットコイン1億円の相続財産が残され、相続人が3000万円の相続税を税務署から請求されたが、パスワード不明で困っている」と報道された。小生はオンライントレード、ましてビットコインなど無縁であるが、世の中にはこうした部分についての対策が必要な方も少なからずおられるかと推察する。PCの知見をお持ちの皆さんのご意見をお聞かせください。

(1) パソコンやスマホによる重要データの安全な管理・継承

[参考資料] デジタル遺品の探し方しまい方残し方 伊勢田篤史 古田雄介 日本加除出版 2024.2

1). デジタル遺品とは ※②③は本人以外見えづらい

① パソコン、タブレット、携帯電話などの情報端末 ※情報の入れ物、経年劣化が早い

② ネット上にある故人のアカウントや契約

※サブスクの契約解除を巡るトラブル増加。動画コンテンツ、ゲームなど定額制配信サービスが本人没後解約できず、毎月、毎年課金され続けるケースあり。決済方法により解約の仕方が異なり、分からない場合は、本人の「アカウント」と「パスワード」が必要。Netflixは2020年に一定期間視聴しないと停止(解約)の仕組みを導入したようだ。

③ ネット上にある故人の銀行口座の預金等の金融資産、業務内容など

2). デジタル遺品のリスク

象徴的なのが「故人のスマホを他者がロックを解除する際の注意点が知られていないこと」やみくもにパスワードを入力しミスが続くと、初期化され内部データが消失のこともある。電子マネーは遺族が気づきにくい。相続の可不可も利用規約で要確認。

3). 対策

① 残すべきデータの選別・保管(含む バックアップ)、検索手順概略の書き止め

資産負債一覧、契約内容一覧、写真、業務内容等 重要データをUSB等に保管し、データ検索の概略手順書作成の旨、継承者に伝えておく(資産関係書類は印刷封印預けも一案)。

② スペアキーの作成(資産関係) ※スマホ決済浸透の若い世代を含め全員がやるべし

*名刺大の厚紙に、機種(PC、スマホ等の型番)、パスワード、記入年月日を書く。

*パスワード部分に上から修正テープを2、3回貼る。

*銀行通帳など重要書類と一緒に保管しておく。

③ デジタル遺品処理の流れ

(本人作業)

*継承すべきデータ・したくないデータの選別、PC、スマホなどのスペアキーを作成

*不要なアカウントの整理

*具体的な引継ぎ方法の共有

【 本人逝去後 】⇒ （遺族などが作業）

*故人のデジタル機器の調査、葬儀に必要なデジタル遺品（連絡先、写真等）の調査

***相続手続き等に必要なデジタル遺品の把握・処理**

***通信通話契約等の各種契約・アカウントの解約**

*故人所有のデジタル機器の整理・処分

(2) パスワードの設定・保存方法等

[参考資料] 「デジタル遺品」が危ない 萩原栄幸 ポプラ社 2015. 10. 1

1). パスワードは紙で保存

パスワード管理は、電子ファイルに保管、パスワード管理ソフトを利用、紙に書き保管の三つがあるが、コンピュータ内にある限りサイバー攻撃等によるリスクが避けられない。

最重要データのパスワードが解明できず、財産継承者が実害を被り 途方にくれることを回避するには、やむを得ないか。パスワード一覧表の安全な保管の問題は、預金通帳・印鑑の保管方法の悩みと同じレベルの話と思われる。

2). パスワード一覧を作成 （安全な保管に工夫が必要）

パスワードはインターネット関連に限らない。

3). ビジネスとプライベートは峻別、プライベートは重要度を三つに分けて作成

① 絶対に重要なパスワード （A 業務に関係するもの、B 金に直接関係するもの）

A パスワード盗難・情報流出で懲戒免職、降格、賞与3年間0の実例、少なからず。

B は、**金融機関のキャッシュカードやクレジットカードの暗証番号とセキュリティコード、ネットバンキングの認証一式、オンライントレード(株など)の認証など。**

*パスワード厳格管理！ ～「**英字の大文字+小文字**」「**数字**」「**特殊文字**」の組み合わせ

*使用厳禁！ ～ **意味のある単語、地名、人名、誕生日、車のナンバー、住所、電話番号。**

*例えば3か月ごと、「パスワード漏れたかも」の時には即変更。一覧表修正も忘れずに。

② ある程度 重要なパスワード（有料サイトやSNS関連のパスワードとID）

「なりすまし」行為などにより結果的に金銭的被害、信用低下に及ぶリスクあり。

③ 盗まれても実害ないパスワード（無料サイトのパスワードとID）

例えば、会員限定のニュース記事やメルマガを読むためのパスワードとID。

*12345678 とか 名前のアルファベットでOK（重要なパスワードの流用厳禁）。

*③のレベルのパスワードは、使いまわしでも構わない。

以 上